

野田ロータリークラブ週報

第2716回例会 (10月21日)

第2709号 2013.10.28 発行

会 長：伊 藤 義 雄

会長I/レク：染 谷 栄

副 会 長：中 野 祐三郎

幹 事：栗 林 徹

副 幹 事：岡 安 誠 人

■発行責任者：小森谷 渉

■創 立：昭和31年5月 ■例会日：毎週月曜日 PM12:30～13:30

例会場 事務局 野田商工会館内5F(樺のホール)

〒278-0035 野田市中野台168-1 TEL04(7125)0061 FAX04(7125)0055

ENGAGE ROTARY CHANGE LIVES



2013-2014年度 国際ロータリーのテーマ

会 長 挨 拶



伊藤 義雄 会長

る樺のホールに行って棋士が対戦している盤をみながら解説しているのを聞いてきました。初めて大盤解説をみましたが、対戦している二人の緊張感と解説の棋士のすごさが伝わってきて本当に面白かったです。昔将棋を少しやったのですが、又やってみたくなりました。第1局の結果は挑戦者の森内名人が勝ったのですがこれからの勝負が白熱すること間違いのないようでした。以上。

17日、18日は野田の市民会館で第26期竜王戦七番勝負第1局が行われました。前日の16日は前夜祭をホテルグランボワで行い、私も行ってまいりました。今回は渡辺明竜王と森内俊之名人との対戦ですが前夜祭ということもあり和やかな会場となりました。私も知っているような多くの棋士に会うことができ大変有意義な時間を持つことができました。17日に始まり18日の夜7:00頃決まったのですが、私も18日の夕方5時頃大盤解説をしてい

第2716回例会

点	鐘	伊藤 義雄 会長
司	会	浅野 泰泉 会員
ソ	ン	グ
		それこそロータリー

ゲスト



米山奨学生 常 楠 様 (奨学金授与)



出席 今回分(10月21日分)
会員52名中41名出席(78.85%)

御誕生祝い



滝 和洋 会員(10月 7日)
森下 芳夫 会員(10月 8日)
村上 奈美 会員(10月21日)
高梨昇一郎 会員(10月21日)
杉崎光三郎 会員(10月26日)

御結婚祝い



栗林 徹 会員(10月10日)
高梨昇一郎 会員(10月21日)
森下 芳夫 会員(10月24日)

(10月7日分)
前々回訂正(86.54%)
(前々回欠席9名中メーカー1名)
宇佐見義夫 会員 10/7 米山記念奨学会研修

ニコニコボックス

宇佐見義夫 会員
たまたま私の教室の一班が、この下の3Fギャラリーで油展を開いています。恐縮ですがご高覧いただければ光栄です。

鶴岡 潔 会員
野田市政10周年記念イベント竜王戦!4日間無事終了しました。ご協力ありがとうございました。

石山 隆一 会員
10/7職場訪問ピアノプラザ本社。多くの方々にご参加ありがとうございました。菊地会員色々お世話様でした。

石山 隆一 会員
野田市政10周年記念イベント竜王戦!4日間無事終了しました。ご協力ありがとうございました。

石山 隆一 会員
10/9 5クラブ合同ゴルフコンペで何故だか優勝してしまいました。

滝 和洋 会員
誕生祝いありがとうございます。

森下 芳夫 会員
誕生祝いありがとうございます。

村上 奈美 会員
誕生祝いありがとうございます。

高梨昇一郎 会員
 誕生祝いありがとうございます。
 杉崎光三郎 会員
 誕生祝いありがとうございます。
 栗林 徹 会員
 結婚祝いありがとうございます。
 高梨昇一郎 会員
 結婚祝いありがとうございます。
 森下 芳夫 会員
 結婚祝いありがとうございます。
 早退 3名

委員会報告

職業奉仕委員会
 石山 隆一 会員



職場見学会 お世話になりました。

幹事報告

栗林 徹 幹事



例会休会のお知らせ

- ・松戸北ロータリークラブ
 10月29日(火)…定款第6条第1節により休会
- ・第39回“おひさまといっしょに”実行委員会より、協力御礼の礼状が届いております。
- ・流山中央RCより活動計画書が届いています。
- ・次回10月28日(月)例会終了後定例理事会開催。
- ・10月26日(土)予定の情報研究会は台風の為延期します。詳細は後日。

高梨昇一郎 会員



俳句同好会を始めます。同好の方お集まり下さい。

卓話

「人生にはちょこっと冒険」

宇佐見義夫 会員 担当

外国人奨学生 麗澤大学大学院 常 楠 様



みなさん、こんにちは、麗澤大学 経済研究科 経営学専攻から参りました、常楠です。わたくし 17 歳の時、自分の意志で日本留学を決め、そして現在 6 年にも経ちました。今年は 7 年目です。みなさんはよくラッキー・セブンとお喋るのですが、確かにラッキーです。私はことしロータリー米山記念奨学金の奨学生になりました。皆さんと出会えまして、いろんな学習をさせてもらって、そして、学校で教われない「本当の日本」も見学できました。これより素敵なこ

ENGAGE ROTARY
CHANGE LIVES

とがあるといえますか？当分ないと思います。みなさんは留学生と振り合うことが慣れていると思いますが、わたくしは、それは奇跡だと思っています。今年五月、日本に留学している留学生が 13 万 8,075 人もいるのに、その中のただ一人が選ばれ、みなさんの前に立って、話を聞いていただくなんて、すごい確率だと思います。この「奇跡な確率」のおかげで、今日わたくしが、みなさんの前で、自分のことを紹介させていただきます。

わたくしは、常楠と申します、中国の大連から参りました。女性です。両親は中国の内モンゴル出身で、わたくしはモンゴル族です。しかし、全くモンゴル語が分かりません。ちょっとだけの自慢ですが、着物の着付けができ、着物コンテストの世界大会で自分で振袖を装い、外国人の部の一位を取りました。現在は、時間があれば、カラオケへ行って歌謡曲を歌い、2000 ピーズのパズルをしたり、一人旅を出掛けることが好きです。現在の悩みとしては修士論文で焦っていることと、健康運はあまりにもアンラッキーであることです。好きな日本語は「目配り、気配り、心配り」です。今は、麗澤大学大学院、経済研究科 経営学専攻で「マーケティング戦略・競争の戦略・ブランド戦略」について頑張っています。修士二年です。これで、自己紹介が終わりますが、質問のある方はぜひ後程でお願いいたします。

今日のスピーチのテーマを「人生はちょこっと冒険」にしたいと思います。わたくしの人生はまだ長くないですが、ぜひ、私の「三つの冒険」を聞いてください。

まずは「最初の冒険」です。わたくし、小さい時から一見おとなしいが、実際に好奇心旺盛で、慣れてきたらすぐ冒険にでる子だと周りの人が言っていたようです。新しいことに興味深々で、全力チャレンジする子でした。毎週の教室とか、塾とかが忙しかったが、成績もよく、楽しいでした。その時は優等生でした、学校のイベントに何でも参加しました。両親には成績の良さを要求されるが、そのほかには干渉していなかった。この生活は中学まで続けました。しかし、偏差値の高い高校に入学したから、大変な日々が始まりました。朝五時に起きて、深夜まで宿題をして、毎日 12 時前に寝れば幸せだという日が続きませんでした。勉強漬けで、趣味も禁止され、7 年間やっていたサックスもやめされました。両親はそれで成績が良くなると思っているのでしょうか、食卓にはいつも私の成績の話をしていました。

しかし、頭のいい生徒さんばかりの高校でしたので、初めての中間テストは、なんとクラス 60 人中 36 くらいでした。一位、二位は毎日遊んでばかり人であり、それじゃおかしいなと思い、そこまで真剣に勉強するのがやめてしまいました。両親に内緒し、その時間でいろんな本を読んで、完全に自分の世界に入りました。期末テストの時は、なんとクラス 60 人中 16 位でした。その結果を知り、両親は喜んでくれましたが、わたくしは全く笑えませんでした。「勉強しない方の成績がいいというのは、勉強しないで」ということですか？それで、わたくしはどうなるのでしょうか？将来は成績にふさわしい大学に入って、普通に就職して、結婚し、子供を産んで、そして子供を育て、孫を育ててという流れみたいな人生でいいですか？と真剣に自分のことを考え始めました。そのとき、よく深夜で両親が知られないようにこっそり日本のアニメを見ました。ナルトを見て、その少年のたくましい成長に感動しました。なぜだというと、自分の夢に向かい、一生懸命頑張っているナルトを見て、夢のある素晴らしさ、自分が何のために頑張っているが知り、何のために涙を流しているが知っている素晴らしさが、本当に全身全霊で感動しましたが、多少当時は社会知らずで若かったこともあるかもしれませんが、これは当時の私が味わったことのことでした。

そして、わたしはまた自分のことを考え始めました、夢のない人間にとっては、勉強とはなんですか、成績とはなんですか？この今まで通りやればいいという道は本当に私にあっていのでしょうか。そのとき、その時の高校は、日本明德義塾高校と姉妹校になり、留学生交換制度が始まりました。わたくしは、日本とは「夢があるところ。夢があってもいいところだ」を信じ、競争が激しく自分が失いそうな中国から飛び出そうと決めました。両親には少々抵抗がありましたがお父さんが「あなた自分が決めたから、自分で行きたいから」と言い、許してくれました。そして、夢のない私は、夢のある国——日本に一人で留学しに来てました。当時、日本の親戚もなく、友達一人もいませんでしたので、毎日日本語の勉強しか、何もやっていませんでした。そして、麗澤大学に入学し、日々充実している生活を送りました。正直、わたくし、いまだにも自分は夢のない人間だと思っていますが、ライフ・ビジョンとして、将来、国際ビジネスにおいて、国際文化交流において、日中の懸け橋になれるように、日々頑張っています。グローバル人材なんかは慣れないかもしれませんが、日本ではチャレンジしたいと思うものがあれば、思いっきり挑戦してみました。

それはわたくしの「初冒険」です、苦勞しましたが、わたくしは「自分の人生」を取り戻しましたし、日本にも来ていました。

そして、第二番目の冒険について、聞いてください。

わたくしは、チャレンジしたいと思うものがあれば、思いっきり挑戦してみたい人です。それは、日本のドラマ・アニメに通じて身に着けた「和のこころ」だと思います。そして、もっとリアルに日本の文化と触れ合いたいと思ひまして、「昔の日本」「日本の伝統」に興味がありました。

着物を着る装道もそうでした。大学三年の時、当校の学園祭で着物の実演ショーを見て、素敵だと思ひ、その場で入部願ひを提出しました。その後、毎週の練習で、浴衣、小紋、振袖、そして着付けまでできました。練習に使う着物及び着物用の下着は全部自前で、少し痛かったですが、「真の日本文化」との触れ合いができたと思ひます。

まず、着物を着る前に、下着で「補正」をちゃんとしなければ、きれいに切れないです。しかも、日々の体調に合わせて、毎日補正を調整しないとイケないです。それで、いかにきちっとした基礎を作るのがを体験できました。目には見えないですが、基礎はちゃんとできているかどうかは、最後の段階に影響します。「補正」をちゃんとできなかつたら、最後になると着物がシワシワになり、しかも調整が効きません。着物を着るのは「補正」から、日本人は基礎を重視してることが服装でわかります。

紐の結び方にも学問があると思ひます。最初に、着物を着るには多くの紐が使われ、体が縛られ、すごく痛いというイメージがありました。しかし、実際にはそうではありません。痛めないように、紐がよよく締められることが全部着物と下着が重なっているところにあります。しかも、結び方も独特であり、時短でつけやすく、体を苦しめないし、最後脱ぐときも外しやすいです。最後に、紐が見えないが、紐の結び方をしっかりしないと、着物が切れない、しっかりしすぎると体が苦しいあるいは、脱げなくなることになるので、最少のプロセスで「適度」を求める日本人の繊細さがわかります。

着物を着るのは、実際難しくなく、練習すればだれでもできると思ひていましたが、実際は違ひました。一回振袖を着て、先生と一緒に出掛けることができました。そして、すぐに「カニ股で歩いているから、いくらきれいな着物を着ても、バレバレだよ」と言われました。確かに、その時私は着物を着れば、話さずにいれば、もう日本人と一緒にだと思ひました。わたくしにとっては、一番難しかったのは、立ち振る舞ひの練習でした。たとえ着物を着ているとしても、和の心を理解しないと、日本人のような行動ができません。日本人と同じ行動をとらないと、日本社会も理解もできません。立ち振る舞ひは、日本人の和の心を表現する行動であり、しかも昔からの流儀でもあるため、日本人は特に気にしていないかもしれませんが、その表現は難しかった。

同じく「あれれ」を感じていたのは、日本の茶道でした。中国では、茶道というのは、どうやって優雅できれいにそしてお茶をおいしく作ることでした。日本の茶道は中国と一緒にだと思ひましたが、実際見に行きましたが、全然違ひました。日本の茶道というのは、その茶室の「雰囲気」作りだと思ひます。部屋に置くお花も、絵も、お茶を作る道具も、お茶を乗せる道具も、お茶に合わせて食べるお菓子もちゃんと決まったテーマがあります。そのテーマに従ひ、茶室全体を一つの場、一つの空間として作り上げ、茶室にいる人たちを同じ体験をさせることです。日本人はいかに「場づくり」を大事にし、その場づくりによって、コミュニティーができ、「共鳴」がより自然な形でできます。

しかも、お茶を作るときにはお茶を作るからできたまでの流儀があります。それは「一つのプロセス」だと考えられます。そのプロセスは長年の年月を乗り越えて、全く変わっていないと聞きました。実際にやってみましたが、そのプロセスは無駄がなく、しかも一番優雅にお茶ができるものである。各産業で輝いた「日本のプロセス」の原点は茶道にあると思ひます。

日本人は昔から、基礎をきちんと整ひ、無駄のないプロセスで貫き、いつも次のステップをおもい一番「適度」な行動を取り、コミュニティーを大事にすることを大事にしています。今もそうです。たとえ、毎日家族間のあいさつ、近隣へのあいさつ、学校・会社でのあいさつはみんな「素敵な場づくり」への努力だと思ひます。玄関の靴をちゃんと並べるにも、きれいになり、けがさせないようにし、これから使いやすひのためです。些細なことでは民族の特性がよく見られます。

これは、私の二番目の冒険です。日本で留学しているのに、研究分野と日本語だけになりました。当時その殻を剥くことができ、「和の心」と交流ができました。それで、日本人の「不思議な行動」を理解しようとするようになりました。



ENGAGE ROTARY
CHANGE LIVES

そして、話を戻ります。私のいまの冒険は「暑い人になる」冒険です。私は日本でいろんな意味の「熱」を感じました。夏の天気だけではなく、特に日本人の「心の温かさ」「夢への熱さ」、「仕事への熱さ」、「みんなの未来への熱さ」があります。それは、多くの中国人がかけていることだと思えます。

特に、日本人の特徴と思われる「心の温かさ」は面白いと思えます。わたくしの大好きな日本語「目配り、気配り、心配り」で表現できると思えます。人々は日常生活にお互いのことを大事に思っているからこそ、もっと優しく、互いに問題なく接すために、いろんな工夫をされているのがわかります。それは、誰かが一方的で、感情あるいは動作を行うことではなく、双方向な優れた交流だと思えます。それは人々のつながりを大事にする前提だからこそできるもので、そして日本という民族、日本という社会は暖かく感じられます。

私も、その「熱い人」になりたいと思い、いろんな活動を始めました。たとえば、このスピーチですね。昔のわたくしなら、「ありがとうございます」「感謝しています」なんか、あまり言いませでした。私は、その感情を口にしたいはありませんからです。なぜなら中国人ですから。中国人は「恩が大きいほど口にしない」という言葉があります。逆に言うと、感情が込めてないから、軽かるといえます。最初に、日本人ってなんでも「ありがとうございます」をいうのが、「う〜ん」という感じでした。特に、いまの日本人若者も引きこもって、お礼をあまり言わないし、って済むじゃんって思っていた時期もありました。「人はどう思うかは、向こうの勝手だ、とってコントロールができない」と思いました。

ロータリーと出会ってから、突然に目が覚めた。熱い人になるには自分の熱さを周りに伝えないと、理解してもらえないと、それは「熱い人」と思われたいではないかと思いました。そのために、いろんな感情を正しく伝えないといけません。正直、それはわたくしの苦手のジャンルでもあります。みなさんに簡単そうにできていることをみて、とてもうらやましいです。

そして、何回も宇佐見さんに「感謝の気持ちを伝えたほうがいいよ」とアドバイスをいただきました。今日は、この場を借りて、みなさんにちゃんと伝えたいとおもいます。親切に接していただきまして、いろんなことを教えていただきまして、本当にありがとうございます。日本はみなさんのような熱い人がいるからこそ、温かい国になっていて、これからも「熱く」ってほしいです。ぜひとも、みなさんの「心の温かさ」「夢への熱さ」、「仕事への熱さ」、「みんなの未来への熱さ」「信念への熱さ」を外に伝えてほしいです。

そして、私もその熱さを持って、ちゃんと中国にいる両親、親友に日本で得たものを伝えたいと思えます。これは、今の私のロマンス、私の「冒険」です。

長い時間を使わせていただきましたが、今回はぜひ、みなさんの「冒険」を聞いてみたいと思えます。これからも、いっぱい冒険したいと思えます。多少失敗への恐れがあるかもしれませんが、始まらないと、何にもならないですから、思いっきり一歩踏み出したいと思えます。

私のスピーチは以上です。みなさん、温かい目で見守っていただきありがとうございます。ありがとうございました。

◇ 摘要 10/28 臨時理事会(11/4)分を行います。

野田ロータリークラブ 例会・卓話予定表

月 日	卓 話 ・ 行 事	月 日	卓 話 ・ 行 事
10月28日(月)	卓話 富山 好夫 会員	11月10日(日)	地区大会 東京ベイ舞浜ホテル クラブリゾート
11月 4日(月)	休日(文化の日)	11月11日(月)	振替休会